

## 令和3年度【前期】助成団体実績一覧

区分：助成限度額

A：100万、B：50万、C：20万

分野：①学校教育、②児童の教育と健全育成、③文化、④福祉

No.	団体名	分野	単年継続	事業内容および助成金の使途	区分	選考委員会決定額
1	学校法人 大隈記念早稲田佐賀学園	①	継続 R1-3 (3年目)	10周年事業3年目の本年度は、10周年記念として創部した高校ラグビー部の創部準備費用の一部をご支援いただきたく、具体的にはグラウンド整備用の乗用芝刈り機の購入費用です。なお、今回整備するグラウンドは地域のジュニア世代にも開放し、地域のラグビー普及に協力します。	A	1,000,000円
2	FUKUOKAみらいプロジェクト	②	継続 R2-4 (2年目)	昨年はコロナの影響により、11年間続けてきた当プロジェクトの見直しをする期間に充てました。今年度こそは職場見学を実施したいとの想いで、緊急事態宣言中はオンライン会議の環境の整備や、これまで紙だった参加申し込みをホームページ上の入力フォームへ変更するなどの業務効率化にも活用いたします。	A	1,000,000円
3	みんなの公園	③	継続 R2-4 (2年目)	みんなの公園は居心地の良い空間をつくるだけでなく、町内外の場所や人、物やコトを結ぶ役割を図り、江北町民の暮らしが豊かになることを目指しております。そのために、多くの人にみんなの公園を知ってもらい、訪れてもらうきっかけづくりとなること、利用者が楽しんでくれることを目的に、マルシェ等の自主イベントを開催します。そのために必要な屋外で使用するタープ TENT などの物品購入費の助成。	B	390,000円
4	特定非営利活動法人 市村自然塾九州	②	新規 R3-5 (1年目)	農業体験活動や事前体験活動、共同生活の3つを柱に、子供たちの規律・自主性・創造性などの資質を育む場を提供しています。活動対象児童は小学校4年生から中学2年生とし、毎年3月から11月まで同じメンバーが隔週、宿舎に集い活動することで、たくましく成長しています。今般のコロナ禍の影響により各方面からの支援金が減額となったため、事業内容を見直し費用の削減に努めたうえで、今回は教材費および告知物の費用として申請いたします。	A	600,000円
5	佐賀県中学校教育研究会 造形部会専門部会	①	単年	佐賀県中学校教育研究会造形部会では、スケッチ大会(5月)や実技講習会(8月)、など、中学校の美術部を対象とした取り組みを実施します。他地区の生徒と交流しながら多様な表現や作品に触れ、美術に対する見方や考え方を広げ深めたり互いに切磋琢磨することで技術の向上を図り、ひいては佐賀県全体の美術のレベルアップにつなげます。今回は各大会等に要する材料費の助成をいただきたく申請いたします。	C	195,000円
6	プロジェクトスペースkenakian	①	単年	これまで県外在住アーティストの講演やワークショップ、展覧会の開催、現代における美術の可能性や新しい楽しみ方の紹介など、学生や一般に参加を募り佐賀大学キャンパスを主会場として行ってきた取り組みが本事業実施の経緯にあります。今後はさらに拓けた交流を生み出す実践として、大学外に立ち上げたプロジェクトスペースを主会場に、招聘アーティストの講演や作品鑑賞・交流会などを実施します。アーティストの負担軽減に制作材料費等への助成をお願いします。	B	490,000円
7	有田とドイツと音楽と実行委員会 (炎の博記念堂)	②	単年	有田町は陶磁器文化を通じてドイツのマイセン市と姉妹都市を結んでいますが、それ以前、大正15年に町の有志が子供たちのためにドイツのシードマイヤー社に直接交渉してピアノを購入しています。当時は大変画期的なことでピアノは学校の音楽教育で大いに活躍し今でも有田小学校に保管されています。今年是有田小学校創立150年の節目でもあり、当時ピアノを寄贈した先人たちの想いを絵本にして、より多くの子どもたちに知ってもらい、ドイツ音楽も楽しんでいただきたい。	B	500,000円
8	唐津市立鬼塚小学校	①	単年	昨年発令された「コロナ禍における緊急宣言」以後、学校行事はすべてなくなり、人との交流や接触が極端に減少しました。交流がなくなると教育的な効果や地域の伝承されてきた文化も大いに減ってしまいます。今回、クラス単位という最小単位で交流を再開することで、子どもたちの元気を地域へ、地域の先達から伝えられた文化を子どもたちへ、教育活動を軸とし人とのつながりを再度結びなおしていきます。よって、各行事を実施するための開催費として助成を申請します。	C	187,500円
9	特定非営利活動法人 WeD	②	単年	企業等からのメンターを招聘し各プロジェクトのブラッシュアップを実施するとともに、高校生の交流促進および高校生自身のアップデートにつなげます。なお、本企画・運営自体も当団体が支援する高校生が実施します。助成金は、今回も唐津市内でプロジェクトを実践している高校生とこれから新しい企画を検討している高校生を集め、過日実施した各プロジェクトの報告会開催費用に充てます。	B	259,500円
10	隣友の会(となりとものかい)	②	単年	新型コロナウイルス感染拡大および緊急事態宣言の影響を受け、収入の減少や離職により経済的な困窮や不安、孤独を抱えている子育て世帯に生活、学用品、食料支援を実施すること、日本の食品ロスの問題全体の45%は家庭からといわれていることをつなぐ循環型支援を目指す活動です。今回は、フードドライブ事業を実施するために、チラシ制作費および会場費等として助成金を申請いたします。	B	460,000円
11	佐賀市スケートボード連盟	②	単年	近年、スケートボードはオリンピックの正式種目に加わりスポーツとしての取り組みが加速しています。とりわけ、小学生以下の選手人口が飛躍的に増加しています。佐賀市にはスケートボードの練習場所がなく、他地域のキッズ選手と比べ練習量が劣り技術的に差が付いていることが課題です。そこで、佐賀市久保泉地区自治会長のご協力で練習場を開設する運びとなりました。しかし、練習場にトイレがないため、今回、助成のお力で仮設トイレの設置を図りたく申請いたします。	B	230,000円
合計						5,312,000円

## 令和3年度【後期】助成団体実績一覧

区分：助成限度額  
A：100万、B：50万、C：20万

分野：①学校教育、②児童の教育と健全育成、③文化、④福祉

No.	団体名	分野	単年継続	事業内容および助成金の使途	区分	選考委員会決定額
1	学校法人 昭和学園 昭和幼稚園・なかよし保育園	①	継続 2年目	2020年からの幼児教育において、リミックと小学校のICTに関する教育計画をふまえ、年長児向けのパソコン学習を新たな教育の柱としている。そのため、継続事業2年目の本年は、パソコンおよび教材機器の購入に対する助成をお願いしたい。	A	1,000,000円
2	一般社団法人 起立工商DMO	②	継続 3年目	「子ども王将戦」として、上級者32名、一般32名の2つのトーナメントを行い、各トーナメントごとに優勝を競う。またそれ以外にプロ棋士による指導対局を開催。棋士が揮毫した記念品のプレゼントなどを行い、1年間の努力を表彰し、勝者も敗者も次に向けて努力していける教育の場にしていきたい。そのため、子どもたちの教育はもとより、佐賀県で一番小さい上峰町の町おこし(将棋の町を目指す)に向け、本事業の企画および運営費に対し助成をお願いしたい。	B	500,000円
3	表現の絆みらい Kick ton ton 基山	③	継続 3年目	基山町の子どもたちが実施するミュージカル。1年目、2年目の助成金は舞台表現に必要な脚本代、衣装代、楽曲制作費に活用した。今回は、最終年度の仕上げとして、業務用のカメラを購入し、動画・配信用コンテンツの作成と、舞台を見に来れない方に動画配信やブルーレイ作成等の費用に助成をお願いしたい。そのうえで、今後の事業継続ために安定した運営を図っていく。	B	500,000円
4	フッパル鳥栖ピアノコンクール実行委員会	③	単年度	今年で27回目を迎えるコンクールおよび、オーケストラとコンクールの優秀者で共演する演奏会を実施する。音楽家を目指す若い方の挑戦する姿を、多くの子どもたちに観てもらうため、各学校に招待券を配付(昨年実績：子ども100名来場)。今回、学校へ告知する広報用チラシおよびチケットの作成費、子どもたちの練習に必要なピアノの借用費として助成金を申請させていただく。	A	1,000,000円
5	伊万里ミントカレッジ実行委員会	③	単年度	教養課程の「森羅万象セミナー」と専門課程の「イマリペディアン養成セミナー」の2部構成で実施する。前者は、広く市民に大学レベルの教養講座とし、後者は、インターネット百科事典であるウキペディアに伊万里の魅力を発信する情報ボランティアを養成するワークショップである。今回は、伊万里地域の発展のための担い手づくりに向け、セミナー開催に伴う運営費に助成をお願いしたい。	C	200,000円
6	特定非営利活動法人 KARATSU CLUB	②	単年度	2020年12月に設立。現在は「子どもたちのラグビー振興」と「海のスポーツであるSUP体験活動」を中心に活動。今回、「地域のアウトドアクラブ」や「地元高校生団体」と連携し、地元の中・高校生に唐津の海でSUP活動を実施する。そのために必要な道具である、SUPボード、パドル等を購入する費用への助成をお願いしたい。	C	200,000円
7	NPO法人 DV対策・予防センター九州	②	単年度	男女間における暴力であるドメスティックバイオレンスは、世代や年齢を問わず発生している。これらを未然に防止するため、中学生、高校生、大学生を対象としたDV未然防止教育を図る講演を実施している。今回、法人設立初年度として、講演に必要な講師謝金、講演用パソコンの購入、告知リーフレット作成費を助成いただきたい。	B	289,240円
8	多久市児童愛護班	②	単年度	多久市内の子どもたちを対象に、児童の教育と健全な成長を促すことを目的とし、これまで各種イベントを開催。餅つき大会を通じて、児童と保護者の融和を図り、郷土愛を育む。今回、これまで使用してきたガス器具等が老朽化しているため、その新調に助成をお願いしたい。	B	480,892円
9	東光会佐賀支部緑光会	②	単年度	本大会は今年で42回目を迎える。昨年度は400点以上の作品が集まったが、昨年と今年は感染対策のため公募形式にて実施したことで県内各地から昨年以上の作品が集まっている。今回、入賞作品を展示するための会場費や材料費、表彰のための各備品購入の費用として助成をお願いしたい。	C	130,000円
10	佐賀県図工・美術教育研究会 「SAGA ART SMILES」	②	単年度	本展はコンクール形式ではなく、多くの方にみってもらう趣旨で、子どもたちの感性豊かな作品をすべて展示している。この展覧会は、毎年佐賀県内のすべての小中学校、特別支援学校に出品を呼びかけ、今年2月開催の作品展では319作品が集まった。今回は、作品展開催までの研修費、運営全般に必要な経費に助成をお願いしたい。	C	31,299円

## 令和3年度【後期】助成団体実績一覧

区分：助成限度額

A：100万、B：50万、C：20万

分野：①学校教育、②児童の教育と健全育成、③文化、④福祉

No.	団体名	分野	単年継続	事業内容および助成金の使途	区分	選考委員会決定額
11	特定非営利活動法人 笑顔いっぱい	④	単年度	認可保育、児童発達支援、放課後等デイサービスを行っている。昨年10月、鳥栖市に2箇所目の児童発達支援事業所を立ち上げ、新たな取り組みとして当所が保育施設との送迎を始めた。今回、新たな取り組みにより利用者が増加し、送迎機能が不十分となっている。送迎範囲も拡大していることから、送迎車を増車したく、車両購入費の助成をお願いしたい。	B	500,000円
12	特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル	④	単年度	児童養護施設を退所する子どもたちへ、一人暮らしに向けた必要な情報や知識、スキルを社会人ボランティアサポート、交流会、セミナーを通じて準備し身に着ける。その参加回数に応じて生活必需品を提供する。そのために、今回は巣立ちする子どもたちへの生活必需品を寄附するための購入費として助成をお願いしたい。	B	495,000円
13	佐賀県立中原特別支援学校	①	単年度	児童のリズム感の向上や生徒同士の関わりを深めるため、これまで音楽や放課後の活動等で太鼓を使用している。ここ生徒数が増加していることから、太鼓の数が不足し十分な活動ができていない。なかには、太鼓に代わってバケツや樽を使用している状況にある。そのため、生徒の演奏機会を今後増やしていくためにも、太鼓を購入する費用を助成いただきたい。	C	200,000円
14	さが維新まつり実行委員会	②	単年度	まつりのPRとともに、大隈重信100周年を記念して「高輪築堤と日本初の鉄道開通」をテーマとした寸劇やクイズを行う。また、まつりにちなんだクッキーなどの生産物を高校生と開発、販売する。そのために必要となる、出演者謝金や音響設備、オンライン制作費などの事業費全般を助成いただきたい。	A	1,000,000円
15	佐賀県盲学校	①	単年度	本校は県下唯一の視覚障がい者の教育機関であり、あん摩マッサージ指圧師の国家試験受験資格が得られる保健医療科、さらにはり師、きゆう師の国家試験受験資格を得られる専攻科を設置している。今回、人体頭部の筋肉、血管、神経、腺、頭蓋骨などの動静脈と神経を立体的に再現し、主に人体頭部周辺の構造について、生徒が理解を深めることに適している、頭部半截モデルの購入費として助成いただきたい。	B	400,000円
16	シエサポ会	③	単年度	本館はミニシアターとして幅広い層による街なかの文化拠点として重要な役割を担っている。しかしながら、建物が老朽化し、フロア内に多くの段差があるなど、お年寄りや障がい者の方は特に利用しづらい状況にある。今回、利用者の声をふまえ、最優先としてエントランスの階段の両サイドに手すりを設置することとした。そのための設置費用として助成をお願いしたい。	C	200,000円
17	一般社団法人 ディーセントワーク・ ライフプランプロデュース協会	②	単年度	子どもの知識、判断力、生きる力を高めるための教育や、心身のケアの場として、「親子マネー教室」「アンガーマネジメント教室」「親子パステルアート教室」「料理教室」などの講座を開催する。今回、講座開催に必要な材料費や会場費、講師謝金などの費用として助成をお願いしたい。	C	200,000円
18	一般社団法人 地域活性化いじめ撲滅委員会	②	単年度	コロナ禍もあり、不登校やいじめに悩む子どもからの個別相談が当団体へ増加している。重点地域を中心に子どもからの直接の相談の強化と、当団体のいじめ相談の声を団体に連絡いただける地元商店や企業を拡大したい。そのため、教育委員会とも連携し、学校や企業へ幅広く告知するツールとして、ポスターおよびポストカード等の制作費を助成していただきたい。	B	390,000円
19	まちな鎮守の森なかよしえん	②	単年度	赤ちゃんからお年寄りまで、多世代交流型の地域育児支援を行っているグループである。特に母親のさまざまな悩みや不安の相談にくわえ、職場復帰を促す場として活動している。今回は、子どもたちの安心・安全な環境を整えるため、壊れたカートの修理費、幼児用が読み書きするための机・椅子の購入費として助成をお願いしたい。	C	200,000円
20	NPO法人 こすもす村	②	単年度	子ども宅食・子どもの居場所・よろず相談を柱に地域貢献活動を行っている。今回、学習支援・居場所などの放課後支援に関する事業として、地域の小学生などを対象に宿題あるいはプリント教材を用いた学習支援を行い、フリースペースで子どもたちが自由に過ごせる居場所を提供する。その学習支援に必要な教材・タブレット等の購入費として助成をお願いしたい。	B	500,000円

## 令和3年度【後期】助成団体実績一覧

区分：助成限度額  
A：100万、B：50万、C：20万

分野：①学校教育、②児童の教育と健全育成、③文化、④福祉

No.	団体名	分野	単年継続	事業内容および助成金の使途	区分	選考委員会決定額
21	佐賀県歌人協会	②	単年度	昨年、協会45周年記念事業として、第1回短歌大会を実施。短歌作品集を受けた各学校の先生より「大会を続けてほしい、授業に入れて生徒に作らせたい、生徒も喜んでいる」など好評であった。今回、高校生の純粋なところと、先生方の熱意に応えるべく、大会を継続事業と位置づけ実施したい。そのために必要となる募集告知物および作品集の制作費として助成をお願いしたい。	B	283,275円
22	呼子歴史文化フォーラム実行委員会	③	単年度	佐賀県重要文化財であるこの屋敷はオープン以来10年を経過し、全国的に他に類をみない古さと規模である。今回、中尾家屋敷の再評価にくわえ、都市史理解のため、講演会を行う。そのために必要な講師招聘費および告知物費等に対して助成をお願いしたい。	C	200,000円
23	CoderDojoさが	②	単年度	小学校でプログラミングが必修となった以後、学校間格差や、経済事情等により教育格差がある。当事業は、そのような子どもたちにプログラミングを通じてICT技術はもとより、論理的思考力や創造性を育む契機とし、道場を開講している。今回、プログラミングを学ぶ道場を定期的を開講するために必要な、通信費や会場費等の運営費に対して助成をお願いしたい。	C	100,000円
24	佐賀大学亀山研究室	①	単年度	佐賀県内におけるMaaSを推し進めるにあたり、学生のカーシェアの利用意向や抵抗感を調査する。具体的には、試乗会を開催することで学生の認知度を広め、その結果は佐賀市交通発展に貢献する提案を実施。今回、試乗会開催に必要な広報費やのぼり作成費等に対して助成をお願いしたい。	C	150,000円
25	子ども支援センター小鳩マナワオラ会	②	単年度	2019年より学習支援事業を開始し、これまで30名ほどの子どもたちを支援してきた。具体的には、発達障害や学力不振、いじめなどに関する相談を受け付け、さまざまな形で支援を行っている。昨年も助成いただいたことで支援が形成しつつあり、今回は継続事業の構築に向けて助成をお願いしたい。	B	500,000円
合計						9,649,706円